

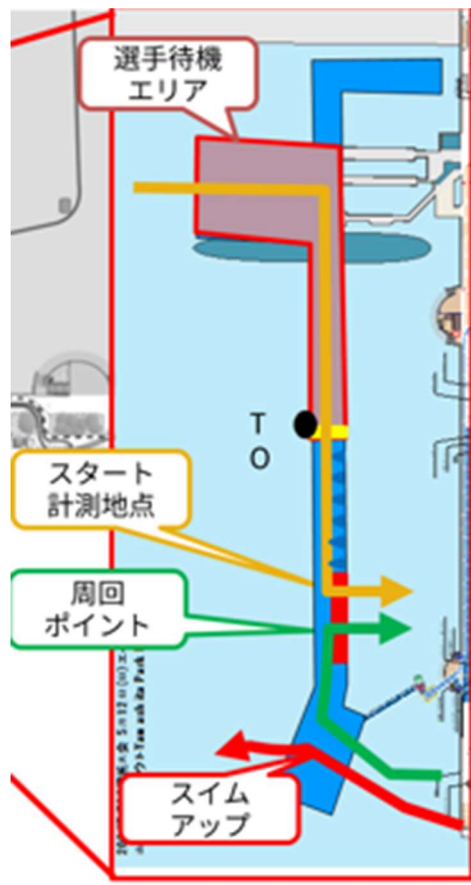
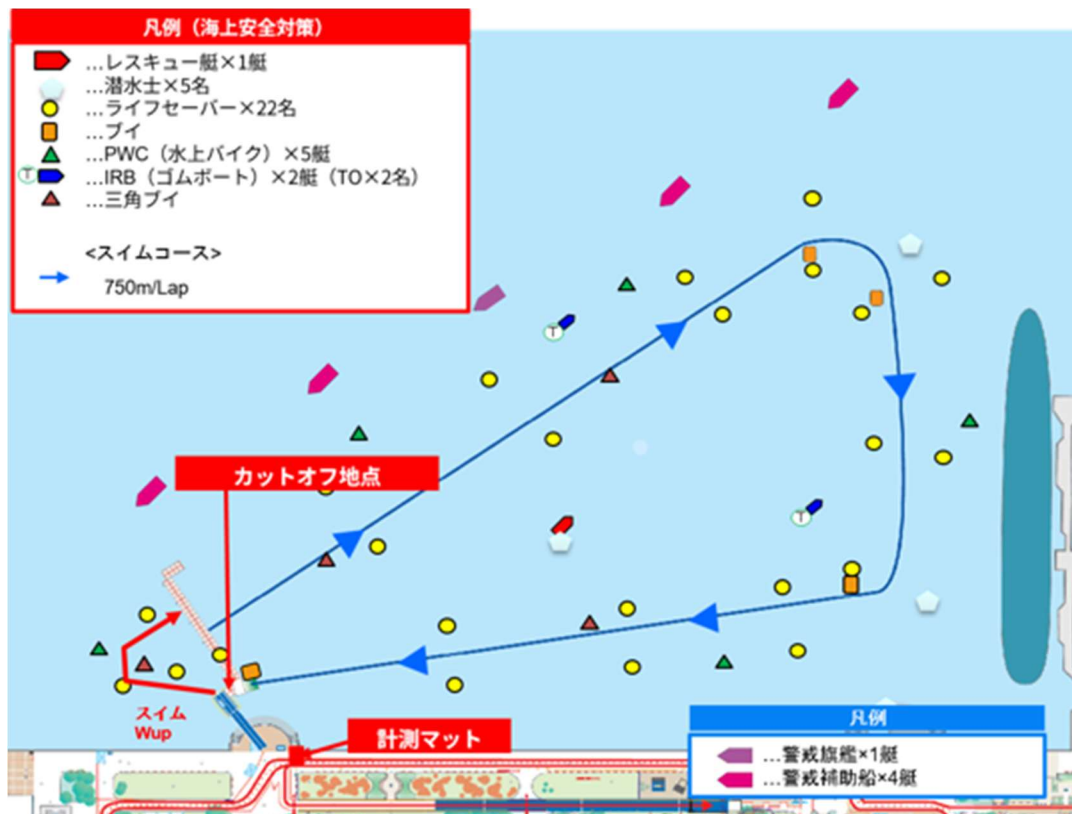
2026 WTCS 横浜大会 オペレーションマニュアル【エイジ・スイム】

大会期間中の遅刻・欠席の連絡 KnTU 本部:070-3236-2277 Swim CTO (花井 哲) :090-2230-7866

1. 活動概要

2026年5月15日(金) 大会前日(エリートレース前日)			
時間	活動内容	場所	備考
12:30	レスキュー講習	山下公園氷川丸バルコニー付近 (入館証は木曜に枚数をLOCへ)	可能な方は参加をお願いします(特に安全管理担当の方)・引上げ場所確認・ショートカットと潮流に伴う声掛けの程度を確認
15:00-16:30	備品確認	KnTU テント	当日に必要な物を纏める。LOC 経由で不足分を調整確認する(各サブチーフ)
16:30-17:15	LTO 受付	横浜人形の家あかいくつ劇場	
17:15-17:45	LTO 全体 MTG	横浜人形の家あかいくつ劇場	
18:00-19:00	パート別 MTG	スイム会場	
19:30-21:30	ふれあいパーティー		ザ・ワーフハウス山下公園
2026年5月16日(土) エイジレース前日(エリートレース当日)			
15:20-15:50	スイム TO ミーティング	山下公園スイムエリア (ポンツーン入口)	エリート終了後集合ください。
-16:30	備品確認	KnTU テント	エリートで使用した iPad 充電や水温計
2026年5月17日(日)エイジレース当日			
5:15	集合	山下公園 KnTU テント	無線はチーフが受領し配布予定
5:40~	受付	山下公園スイムエリア	
5:45-5:50	ブリーフィング	↑	スイムエリアへ移動
5:50-6:45	スイムエリア設営・準備	ポンツーン、氷川丸	各ポジションの SCTO を中心に、設営・準備をお願いします
6:45	スイムチェックイン開始	スイムチェックイン	スイム招集が実施するので参考情報
7:15~	スイム競技スタート	ポンツーン、氷川丸	エイジパラ TRI-6/TRI-1~5/エイジ
12:00	スイム競技終了	↑	無線でスイムパート終了連絡
12:00-12:30	スイムエリア片付け	↑	
12:30 頃	デブリーフィング	山下公園 KnTU テント	
12:40 頃	昼食	山下公園 KnTU テント	
12:40 頃	スイムパート解散	山下公園 KnTU テント	
-14:30 頃	他パートの応援	(各ポジション)	業務終了後、他パートの応援依頼の場合、ご協力いただけます様お願いします

3. コースマップ、試泳エリア



4. TO配置（総勢：17名体制）

No	エリア・役割	職位	名前	無線	トラメガ	備考
1	全体統括	C	花井 哲	○	○	
2	ポンツーン・通路/試泳 IN	SC	岡田展生	○	○	
3	↑		光行政次	—		
4	ポンツーン・試泳 OUT・通路	SC	熊沢奈弥	○	○	
5	↑(SKIP/リタイア等 Line 報告)		唐沢幸広	—		
6	↑(SKIP/リタイア等 Line 報告)		今井一則	—		SEA 後(想定9時半以降)
7	ポンツーン・スタート	SC	鶴見耕市	—	○	ホーン→HR へ
8	↑(最終選手 TOV 時間連携)		中村恵一	—		iPad/スピーカー/時計
9	↑		森高律子			
10	周回管理・情報連携・記録		小池昌樹	—	○	誘導
11	↑		小田智子	—		Line でアンクル報告
12	↑(飛び込み啓蒙、Race No.確認)		松田光太	—		
13	↑(リタイア等 Line 報告)		中村安夫			SEA 後(想定9時半以降)
14	氷川丸・安全・情報連携・記録	SC	猪俣位	○		氷川丸側リタイア管理
15	↑		吉崎富美子	—		氷川丸側リタイア管理
16	水上(安全・情報連携)	SC	大谷圭吾	○		救助船(IRB)
17	↑		長谷川満	○		救助船(IRB)

7. スイム競技のルール

■ スタート方式

カテゴリー	スタートプロトコル
エイジパラ	ウォーターインスタート ※全選手がポンツーンから海に入り、ポンツーンに掴まって一斉スタート(07:15/7:20 スタート)
スタンダード /リレー/スプリント	ローリングスタート ※5秒ごと3名ずつスタートする。※マットを通過した時点で計測開始とする

◆ 制限時間:アスリートガイド参照

- ★エイジパラ(35分00秒)
- ★スタンダード(1周目:22分30秒、2週目:45分00秒)
- ★スプリント(25分00秒)
- ★リレー1周目:22分30秒、2周目:45分00秒)

8. 業務詳細・留意事項

・共通事項

■ 連絡体制

DNS/DNF/スイムスキップの情報は、LINE グループにて共有。

■ リタイア選手対応

(1)DNF 選手の下記を確認する

a)レースナンバー b)DNF 時刻 c)DNF 理由 d)メディカル対応の要否

(2)DNF 選手のアンクルバンドを回収する

(3)速やかに、上記確認した内容を本部へ **LINE** で連絡する(無線は有事に開けておく運用)

(4)DNF,TOVした選手へ、会場への戻り方をご説明する。**自計測での競技続行をしないようにチェック**

(5)メディカル対応が必要な選手は、メディカルへ引き渡してください

(6)リレー選手がリタイアした場合は、トランジションへ **無線で**レースナンバーを伝達してください

(トランジションエリアからバイクパートの選手がスキップスタートする為)

(7)エリア毎に担当チームがアンクルバンドをグループ毎に整理し、番号が見えるように写真撮影してください

(上記3と重複する場合は不要とする)

■ スキップ対応

試泳後のスキップ受付はスイム招集 TO がポンツーンまで来て対応。もし、タイミングが悪くスイム招集 TO が居られない場合、遮蔽缶と TO が来るまでこちらで引き留め、無線連絡し選手に待つて頂く。

■ 給水対応

給水対応は実施なし

⇒給水が必要な選手に対してはメディカルに連携し、メディカルから給水対応するようお願いいたします

■ 落とし物対応

落とし物は各 TO が回収し、競技終了後に CTO 経由で大会本部へ届ける

■ 持参品

油性マジック、マリンシューズあるいは濡れても良い靴。※救助船担当は防寒対策&濡れても良いものを着用してください

試泳			
No	業務	主担当者	業務詳細・留意事項
1	ポンツーン・通路/ 試泳エリアの設営	試泳 IN	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンツーンの通路に、カラーコーンを用いて「試泳」「スイムアップ」の 導線を区分けする(最大5~10マーカーコーンで実施) ・メガネ預かり所をポンツーン出口に設営(試泳側から置き、スイムアップ後に取れる様にする)
2	試泳タイミングのコントロール		<ul style="list-style-type: none"> ・タイムテーブルに従って、試泳のタイミングをコントロール(多少の早めの入水は可) ・5秒間隔で3名ずつのローリングスタートで試泳スタートさせる ・入水時には足から入るよう指示する(頭からの飛び込み×) ・試泳後のポンツーン待機人数に注意し試泳 OUT 側の TO と連携して選手の試泳スタートペースをコントロールする
3	パラ試泳について	ポンツーン・スタート	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートエリアで実施。スタート開始時間前に余裕をもって終了しスタートに臨む旨伝える(上がる場合は SEA 又は試泳 OUT) ・試泳後からスタート前迄はスイムスキップ宣言を可能 ・TRI6 がスタートする際、誘発して TRI1-5 がスタートしないように事前に声がけする
4	スイムスキップ制度	試泳 OUT	<p>スイム受付時に加えて試泳後のスキップも可とする。試泳後にスキップ申請があった場合、ポンツーン迄来られたスイム招集側 TO が担当。無線で依頼するスイム招集 TO が不在の場合、試泳 OUT 担当 TO が1)受付、2)スイム招集 TO へ無線連絡、3)アンクルバンド回収、4)スイム招集 TO へ選手と内容を引き継ぐ</p> <p>※1:パラ選手の場合、T1まで誘導できるメンバーをその時の状況で編制 ※2:スタートラインのセンサーに触れない様、スイム招集 TO を待つ</p>

ポンツーン側・スタート、周回			
No	業務	主担当者	業務詳細・留意事項
1	ポンツーンエリアの設営		<ul style="list-style-type: none"> ・ポンツーン上にカラーコーンを設置し、選手導線を設営 ・タモにて浮遊物撤去。竹ぼうきで清掃 ・SEA でプレトランジション設営された内容で導線影響ないか確認
2	水温・気温計測	小田	<ul style="list-style-type: none"> ・水温/気温を計測し、本部へ無線連絡 <p><測定時刻> 06:30 スイムコース3か所にて計測 07:00,08:00,09:00,10:00,11:00 ポンツーン上にて計測</p>
3	試泳監視	試泳 In/Out	<ul style="list-style-type: none"> ・試泳している選手に異常がないか監視する ・試泳が終了して、ポンツーンへ上陸する選手を誘導する ・試泳を2周回しないようコントロールする
4	選手待機場所コントロール		<p>必要物:黒マジック、予備のキャップ、啓蒙サイネージ(日英)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試泳終了後にポンツーン上でスタートを待っている選手を横3名の列で整列させてコントロールする ・スイムキャップにNo.シールがない選手がいたら、マジックで書いてもらう。破れた等は予備を確保しているスイム招集に相談する ・ポンツーン上に待機する選手はポンツーンの状態(揺つき、沈み)などを見ながらコントロールする ・人数調整が必要な状態の場合、試泳スタートの TO と連携して選手の試泳スタートペースをコントロールする ・ショートカット防止:「1つ目の樽ブイの後、氷川丸の船尾にある程度泳いであら2つ目の樽ブイに向かってください」と伝える。 ・再度確認事項:頭からの飛び込み禁止、アンクルバンド装着、スイムブーツ装着可、周回数

2026 WTCS 横浜大会 オペレーションマニュアル【エイジ・スイム】

5	スターター		<ul style="list-style-type: none"> ・入水は足からとなります。スタート、周回時の飛び込み禁止 ・オンタイムを意識し、タイムテーブルに従って、スタートのタイミングをコントロールする。問題発生時はチーフへ相談する ・各グループの最初の選手のスタート時に、スタートホーン(HR 又は来賓者以外の場合)でスタートの合図を実施する ・5 秒間隔で 3 名ずつのローリングスタートで試泳スタートさせる (iPad 自身のスマホにアプリを入れて 5 秒間隔で電子音を発生させる) ・各ウェーブ最終選手が入水した時刻をチーフに連携する ・TRI6 がスタートする前、必ず TRI1-5 に対して5分後と全員に伝える
6	周回管理		<ul style="list-style-type: none"> ・周回ミスにならないように声掛けを行う(キャップ色を意識) ・1 周回目を終えた選手が 2 周回目に入るとき、入水位置まで選手を誘導する ・入水時には足から海へ入るよう啓蒙する(頭からの飛び込みは禁止) ・他の選手やローリングスタートの選手と接触しないよう誘導する ・体調不良と見て取れる選手に対しては 2 周目の入水前に必ず声がけする ・疲労が激しい選手、具合の悪そうな選手についてはメディカルスタッフに対応を依頼する ・疲労が激しい選手については、継続 or リタイアの意思確認を行う ・継続の意思があり、継続できる状態であれば競技を継続させる。それ以外の選手はリタイア勧告を行う
7	周回時タイムカット ／制限時間オーバー (足切り)	スタータ ／周回	<ul style="list-style-type: none"> ・各ウェーブの最終出走時間からカット時間を算出し、SCTO へ報告する ・TOVした選手には丁寧に状況を伝え、その後のレース継続が出来ない事を勧告してください。制限時間は別箇所に記載 ・自身計測で完走を目指す人がおられるのでポンツーンからトランジションへ走り出したら注意する。最悪はトランジションへ無線連絡する
8	スイムアップ選手誘導	周回	<ul style="list-style-type: none"> ・スイムアップしトランジションへ向かう選手を誘導する
9	リタイア対応 (ポンツーン側)	試泳 OUT ／周回	<ul style="list-style-type: none"> ・救助船で搬送されてきた要救護者とリタイア者の対応を行う ・要救護者をメディカルチームへ連携する ・選手からアンクルバンドを回収する ・リレー選手がリタイアした場合は、レースナンバー情報を無線でトランジションへ連絡し試合継続連絡を行う。その後 LINE へ共有。リレー以外は無線連携不要。Line のみ
10	アンクルバンド管理		<ul style="list-style-type: none"> ・フィニッシュ方面、周回の分岐点に箱か袋を置き、リタイア対応後にアンクルバンドを入れる ・試泳 OUT 側：回収したアンクルバンドはデジタル時計の脚にマジックテープで取り付け、最終的にスイムチーフに引き継ぐ
11	リタイア選手情報共有 (LINE)		<p>必要物：個人スマートフォン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループのスイム競技が終了後、アンクルバンドの番号が見える様に写真を撮影し、LINE グループへ共有する(実際はバラでリアルタイム)
12	プレトランジション撤収	周回	<ul style="list-style-type: none"> ・パラ終了後にエイジの整列に支障をきたす為 SEA と協力し撤収を行う
13	頭から飛び込み時		<ul style="list-style-type: none"> ・頭から入った選手がいた場合、レースナンバーをスイムチーフへ伝える
14	各ウェーブの無線連絡	CTO	<p>ウェーブ毎にスイムスタートが定刻スタートか否か(進行状況)の連絡。 エイジトップ選手のスイムアップ、エイジ最終選手のスイムアップ連絡</p>

水上・氷川丸側バルコニー			
No	業務	主担当者	業務詳細・留意事項
1	選手の安全管理 (救助艇/IRB)	水上	<ul style="list-style-type: none"> ・パラ試泳時の監視 スタート時間の注意喚起も行う ・選手の安全確保 声掛け(体調、泳力、方向)、レスキューと協力して危なそうな人のウオッチ(潮流でカーブを描きながらの泳力者には注視する。レスキュー側とも共有する) ・平時は第1ブイ→第2のショートカット監視を行う ・危険な(溺れそうな)選手の監視/声掛け/リタイア勧告を行う ・TOVになりそうな選手がいる場合、チーフから連絡がない場合は IRB からチーフに無線連絡。時間に対して TOV 判定を IRB へ無線回答。 <ul style="list-style-type: none"> ・リタイア勧告/TOVした選手をライフガードに連携し引き上げ、バルコニーへ搬送する(原則として氷川丸側へ搬送する) ※緊急の場合はポンツーンへ搬送される可能性がある。搬送先については、監視船のライフセーバーと連携して決める ・軽溺/重溺者等、要メディカル対応の場合は即、無線連絡を行い、陸上の体制を整える ・リタイア選手を、陸上側 TO へ引き渡す ・各グループの最終選手スタートから制限時間を超えた選手を引上げる 手順:①キャップ色で特定②告知(5分前～)③回収:制限超過告知 ※レスキューと水上バイクの双方とコミュニケーションを取って頂く確認をする ※リタイア情報を無線に流すのは不要。引き上げ先の TO で Line 処理する ※レスキュー側方針。第二ブイ迄:ポンツーン側へ。第三ブイ:氷川丸側へ
2	選手の安全管理(陸上から)	氷川丸	<ul style="list-style-type: none"> ・選手スタート後、陸上より選手の監視を行う。(双眼鏡等を使用し、泳ぎ方や状態等を判断) ・危険な選手を発見した場合は、IRB、近くのライフセーバー、救助艇へ 連絡し対応してもらう
3	リタイア対応 (氷川丸側バルコニー)	氷川丸	<ul style="list-style-type: none"> ・搬送されてきた要救護者とリタイア者の対応を行う ・要救護者をメディカルチームへ連携する ・選手からアンクルバンドを回収する ・リレー選手がリタイアした場合は、レースナンバー情報を無線でトランジションへ連絡し試合継続連絡を行う。その後 LINE へ共有 ・TO 要員不足の事態は無線連絡で応援を(白波とかで警戒する)
4	リタイア選手情報共有 (LINE)	氷川丸	<ul style="list-style-type: none"> ・メディカルテント内のホワイトボードで救護者情報の管理が行われるので、アンクルバンドと照合する(必要に応じてホワイトボード への記載も行う)・リタイア選手のアンクルバンドをグループ毎に整理して管理する・各グループのスイム競技が終了後、アンクルバンドの番号が見える様に写真を撮影し、LINE グループへ共有する ★24 振返りで現実を下記に追記。上記はいままでの <ul style="list-style-type: none"> ・Line グループ作成し、DNF 単位に画像をアップロード ・本部で受理されたらいいねマークが付く ・受け取ったアンクルバンドはまとめて計測会社に渡す



LINE グループへ送ったアンクルバンド写真例



氷川丸リタイア選手引揚場所

9. 備品リスト

No	備品名	数量	備考
1	スタートホーン	2	前日に本部調整しエリート使用後を当日受領
2	iPad	1	・5秒インターバル電子音発信用 ・インターバルタイマーアプリを入れて使用 (iPadはアカウントがない為アプリは入れられない)
3	トラメガ	2	試泳、スタート(マイク・腰スピーカータイプが良)
4	テーブル、養生テープ	2	サイネージ(メガネ)用
5	椅子	10	リタイア用。ポンツーン5、氷川丸5
6	ゴミ袋(大)	10	ポンツーン5、氷川丸側5(24振返り:未使用、25再確認)
7	ゴミ箱	2	マスク、アンクルバンド回収用(ポンツーン)
8	ビニール袋(小)	10	ポンツーン5、氷川丸5(ポンツーン1使用)
9	マジック	3	ポンツーン2、氷川丸1(各自持参)
10	コーン	25	カラーマーカーコーンを使用
11	コーンバー	25	内、スタートと周回との間に1本は必須(25実際使用数を要確認)
12	気温・水温計	1	エリート→LOCへの引き渡しをLOCに伝え当日確保依頼。
13	竹ぼうき	1	
14	タモ	3	
15	双眼鏡	2	1の場合はポンツーンか氷川丸のどちらかで
16	予備のスィムキャップ式	各色	赤2、黄橙各4、桃白青緑各6(最低各色2枚想定数)(確保はスイム招集側に確認)
17	時計(秒針付き)	1	スタートで使用(計測会社と時間確認をする。ポンツーンに置かれているが見えない。私物の電波時計を使用)

10. サイネージ

No	サイネージ	数量	設置場所	No	サイネージ	数量	設置場所
1		2枚	・ポンツーン出口(選手競技導線)	2		1枚	・メガネ預かり所

※図柄・デザインは事務局にて最終決定されるため、変更される可能性があります。

11. Group Line

1) Line Open Chat の QR コードから参加する



2026 WTCS 横浜大会 オペレーションマニュアル【エイジ・スイム】

カテゴリー	グループ	人数	ウェーブ	受付	バイクチェックイン	スイムチェックイン	スイムウォームアップ	スタート	カテゴリー	バイク	人数	レースナンバー	スイムキャップ						
エイジバラ (15名+ガイド3名)	TRI	11	TRI	6:00-6:15	6:00-6:30	6:45-7:00	7:00-7:15	7:15	TRI-6	3	3	61-63	グリーン						
									GUIDE		3	GUIDE	ホワイト						
								7:20	TRI-1	1	1	11	レッド						
									TRI-2	2	2	21-22	イエロー						
									TRI-3	3	3	31-33							
									TRI-4	1	1	41							
TRI-5	5	5	51-55																
スタンダード男子 (1119名)	A	456	1	6:00-6:20	6:00-7:15	7:20-7:35	7:50-8:10	8:00	M30-34	87	169	1001-1169	オレンジ						
								M35-39	82										
				8:06				M40-49	143	143	1201-1343	レッド							
	8:13-8:20	144	144	1401-1544	イエロー														
	B	437	4	7:00-7:20	6:00-8:15	8:25-8:40	8:55-9:10	9:05	M-19	4	66	2001-2066	グリーン						
								M20-24	12										
								M25-29	50										
	9:11	M55-59	193	193	2101-2293	ホワイト													
						9:18-9:23	M60-64	104	178	2301-2478	ピンク								
												M65-69	48						
	M70-74	21																	
		M75-79	5																
	C	470	7	8:00-8:15	6:00-9:15	9:25-9:40	9:55-10:12	10:05	M50-54	226	113	3001-3113	ブルー						
				8:15-8:25				10:10				113	3201-3313	レッド					
スタンダード女子 (136名)	C	470	9	8:25-8:40	6:00-9:15	9:25-9:40	9:55-10:12	10:15	F40-	98	98	3401-3498	イエロー						
				F-39				38	3501-3538			グリーン							
スタンダードリレー (36組108名)				10				8:40-8:50	6:00-9:15	9:25-9:40	9:55-10:12		10:20-10:23	リレー(女子)	5	15	51	3601-3605	グリーン
														リレー(混合)				17	
リレー(男子)	14	3801-3814																	
スプリント女子 (52名)	D	318	11	9:00-9:20	6:00-10:15	10:30-10:45	11:00-11:12	11:10	女子	53	80	101-153	オレンジ						
リレー(女子)									0										
リレー(混合)									6			301-306							
リレー(男子)									3			401-403							
スプリントリレー (9組27名)			12	9:20-9:40	6:00-10:15	10:30-10:45	11:00-11:12	11:12	11:12	M55-59	42	108	501-542	ブルー					
										M60-69			51		551-601				
										M70-79			13		611-623				
スプリント男子 (238名)			13	9:40-9:50	6:00-10:15	10:30-10:45	11:00-11:12	11:12	11:15-11:17	M80-89	2	72	631-632	ホワイト					
										M40-49			38		701-738				
										M50-54			34		801-834				
										M-19			5		901-905				
14			9:40-9:50	6:00-10:15	10:30-10:45	11:00-11:12	11:12	11:19-11:21	M20-29	26	58	911-936	ピンク						
									M30-39			27		941-967					

※スイム招集からの送り出し時刻はスイム招集資料を参照(上記**試泳開始の2-4分前**)

※リレー選手のDNFは**トランジションへの無線連絡が必須**(詳細は別記載)

※chiefは上記各Gで**選手開始と最終上がり時に無線連絡する**(TRI6 定刻スタートしました/グループO,最終上りました)

